

# 事務事業実績測定調査

10526010003	産業廃棄物指導等事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000400	環境部環境指導課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	87.大気・土壌汚染等の公害の未然防止を図るとともに、産業廃棄物などの発生抑制や適正処理の推進に取り組みます。	
	実行計画事業名	産業廃棄物適正処理推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事业	区分	非選択的事務事業
事業期間	2013 (H25) 年度		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する規則、枚方市産業廃棄物の不適正な処理の防止に関する条例、枚方市産業廃棄物の不適正な処理の防止に関する規則、枚方市一般廃棄物再生利用業の指定に関する規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	産業廃棄物を処理する事業者による法令等に従った産業廃棄物の適正処理の徹底が図られている。				
事業概要	<p>産業廃棄物処理業者に対し、適正処理に係る指導を行う。廃棄物処理法及び自動車リサイクル法に基づく許可等に係る事務を行う。</p> <p>多量排出事業者に対しては、計画書の提出及び実績の報告を求め、産業廃棄物の排出抑制に向けた取組について指導を行う。その他、法令に基づく各種届出等の受理及び公表等を行う。</p> <p>PCB廃棄物及びPCB使用機器は、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法により処理完了期限までに処理することが定められていることから、PCB廃棄物及びPCB使用機器を保有する事業者に対し、期限内に処理を行うよう指導する。</p> <p>産業廃棄物の野積みや不法焼却の不適正処理の防止に向け、監視活動及び指導等を行う。</p>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標				
指標の説明	立入検査を行った産業廃棄物処理業者数				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
目標(予測)	—	18	18	18	単位
実績	—				
					者

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	5.66	5.24	4.30
正職員数	4.09	3.42	2.75
非正規職員数(計)	1.57	1.82	1.55
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	1.00	1.00	1.00
臨時職員数	0.57	0.82	0.55
■人件費総額(千円)	36,795	32,232	26,011
正職員人件費(換算額)	32,205	27,192	22,047
非正規職員人件費(計)	4,590	5,040	3,964
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	3,540	3,540	2,913
臨時職員人件費(実額)	1,050	1,500	1,051
■直接経費(千円)	1,280	502	488
■事務事業の総計(千円)	38,075	32,734	26,499
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	751	1,215	646
一般財源	37,324	31,519	25,853

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>すべての産業廃棄物処理業者及び解体業に対し、立入検査を実施して、書類及び現場で、適正な処理が行われていることを確認した。産業廃棄物処理業及び産業廃棄物処理施設、一般廃棄物収集運搬業、一般廃棄物再生利用業、使用済自動車の引取業等の許可及び指定等に係る事務を行った。</p> <p>すべての産業廃棄物の多量排出事業者から、計画書の提出及び実績の報告を受け、法律に基づきホームページに公表した。</p> <p>PCB廃棄物及びPCB使用機器を保有する事業者に対し、立入指導を行って、処理期限内に処理を行うよう指導した。</p> <p>その他、法令に基づく各種届出書を受け、審査を行った。</p> <p>産業廃棄物の不適正処理に係る事業者について、定期的な監視活動を行うとともに、事業者に対し、指導等を行った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	<p>今後も引き続き、産業廃棄物処理業者に対し、立入検査を行って、適正処理に係る指導を行うとともに、排出事業者に対しては、届出の提出を求め、産業廃棄物の排出抑制及び適正処理に向け指導する。廃棄物処理法及び自動車リサイクル法に基づく許可等に係る事務を行う。また、産業廃棄物の不適正処理に係る監視活動等を行う。</p>	

# 事務事業実績測定調書

10526010005	環境影響評価届出審査事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000400	環境部環境指導課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	87.大気・土壌汚染等の公害の未然防止を図るとともに、産業廃棄物などの発生抑制や適正処理の推進に取り組みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	1993 (H05) 年度		~		
根拠法令等	枚方市環境影響評価条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	環境影響評価対象事業を実施しようとする事業者が適正な環境影響評価を実施することで、環境の保全、及び市民の良好な生活環境の確保が図られている状態。				
事業概要	枚方市環境影響評価条例に基づく届出の受理及び審査を行う。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	環境影響評価届け出指導、審査件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	2	2	2		
実績	—					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	15.50
正職員数	0.10	0.10	1.40
非正規職員数(計)	0.00	0.00	14.10
再任用職員数	0.00	0.00	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	14.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	11,953
正職員人件費(換算額)	787	795	11,224
非正規職員人件費(計)	0	0	729
再任用職員人件費(換算額)	0	0	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	219
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	43
■事務事業の総計(千円)	787	795	11,996
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	787	795	11,996

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸新幹線計画段階環境配慮書及び環境影響評価方法書に関する意見照会を大阪府から受け、本市環境影響評価審査会に諮問し、答申を受けたのち、本市の意見を大阪府に提出した。</li> <li>・枚方市環境影響評価審査会委員の改選を行った。</li> <li>・枚方市環境影響評価等技術指針の改定を行った。</li> <li>・環境影響評価条例に基づく手続き、相談に対し、適正な指導を行った。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	枚方市環境影響評価条例に基づく手続きや届出等について、適正な指導、審査並びに審査会の適正な運営を行う。	

# 事務事業実績測定調査

10526010006	光化学スモッグ対策事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000400	環境部環境指導課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	87.大気・土壌汚染等の公害の未然防止を図るとともに、産業廃棄物などの発生抑制や適正処理の推進に取り組みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	大阪府大気汚染緊急時対策実施要綱、大阪府オキシダント(光化学スモッグ)緊急時対策実施要領				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	光化学スモッグ情報が発令された際に、防災行政無線や発令通知メール等を通じて、関係機関への伝達や市民への周知を迅速かつ確実に行い、対象者の認識、退避行動につながっている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気汚染常時測定局で測定した大気汚染の状況を大阪府に提供する。</li> <li>光化学スモッグ予報等が大阪府から発令された場合に、周知事項等を関係機関、市民にすばやく伝達する。</li> <li>被害にあった者に対し、医療費の支給の措置を講じる。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標				
指標の説明	光化学スモッグによる被害者数(前年比増減)				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位
目標(予測)	—	0	0	0	
実績	—				

人

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.10
正職員数	0.10	0.10	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	802
正職員人件費(換算額)	787	795	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	787	795	802
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	787	795	802

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>・大阪府オキシダント(光化学スモッグ)緊急時対策実施要領に基づき、光化学スモッグ予報等発令時における措置および周知事項を、関係機関に伝達・連絡した。また、光化学スモッグに関する情報を収集した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	<p>良好な生活環境を確保するため、光化学スモッグに関する情報を収集するとともに、大阪府オキシダント(光化学スモッグ)緊急時対策実施要領に基づき、光化学スモッグ予報等発令時における措置および周知事項を関係機関に伝達・連絡する。</p>	

# 事務事業実績測定調査

10526010007	公害苦情相談事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000400	環境部環境指導課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	87.大気・土壌汚染等の公害の未然防止を図るとともに、産業廃棄物などの発生抑制や適正処理の推進に取り組みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	公害関連法令				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	発生源者による原因除去、または申立者との間で意思疎通と歩み寄りが促進され、双方の納得いく解決案に至る。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質汚濁や騒音等の典型7公害にかかる苦情・相談を受付し、原因の究明に努め、解決を図る。</li> <li>典型7公害に伴う規制対象にはならない相談に対し、説明等により、相談者の理解を得る。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	水質汚濁や騒音等の典型7公害にかかる苦情の解決率					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	—					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.05	2.25	2.25
正職員数	1.55	1.55	1.55
非正規職員数(計)	0.50	0.70	0.70
再任用職員数	0.50	0.70	0.70
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	14,427	15,769	15,995
正職員人件費(換算額)	12,205	12,324	12,426
非正規職員人件費(計)	2,222	3,445	3,569
再任用職員人件費(換算額)	2,222	3,445	3,569
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	60	57	62
■事務事業の総計(千円)	14,487	15,826	16,057
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	14,487	15,826	16,057

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	令和元年度は典型7公害に関する苦情183件(前年度より持越し1件含む)について対応し、解決に至った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	良好な生活環境を確保するため、市民からの相談があれば、早急に対応し、市民の不安解消に努める。	



# 事務事業実績測定調書

10526010008	公害調査事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000400	環境部環境指導課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	87.大気・土壌汚染等の公害の未然防止を図るとともに、産業廃棄物などの発生抑制や適正処理の推進に取り組みます。	
	実行計画事業名	大気汚染等環境監視・指導事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、騒音規制法、振動規制法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生活環境の情報が、正確に、かつ継続的に提供されることで、市民が安全で安心した生活を送れている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音振動測定 環境騒音測定24地点、道路騒音・振動調査24地点。</li> <li>・ダイオキシン類調査 大気、地下水、土壌の各1地点、河川の水質・底質の各3地点において調査を実施。</li> <li>・有害大気汚染物質の常時監視 ダイオキシン類を除く有害大気汚染物質の常時監視。</li> <li>・一級水準測量 地盤沈下の状況を把握するため、42の水準点において水準測量を実施。(実施は複数年に1回)</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	環境基準等の達成率 【算出式：各事業の達成率/事業件数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	99.5					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.10	1.20	1.20
正職員数	1.00	1.00	1.00
非正規職員数(計)	0.10	0.20	0.20
再任用職員数	0.10	0.20	0.20
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	8,318	8,935	9,037
正職員人件費(換算額)	7,874	7,951	8,017
非正規職員人件費(計)	444	984	1,020
再任用職員人件費(換算額)	444	984	1,020
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	6,573	11,154	5,585
■事務事業の総計(千円)	14,891	20,089	14,622
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	2,214	1,760	1,404
一般財源	12,677	18,329	13,218

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	99.50%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>環境の状況を把握するため、騒音・振動調査、有害大気汚染物質調査及び大気、地下水、土壌の各1地点と、河川の水質・底質の各3地点におけるダイオキシン類環境調査を実施した。</p> <p>地盤沈下の状況を把握するための一級水準測量については、阪神地区地盤沈下調査連絡協議会において決定された内容に沿って平成30年度に関係機関と連携を図り実施した結果を、データ集として市HP等に公表を行った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	一級水準測量について、令和3年度の実施に向けて関係各課と連携し、準備を進める。	

# 事務事業実績測定調書

10526010009	公害防止啓発事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000400	環境部環境指導課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	87.大気・土壌汚染等の公害の未然防止を図るとともに、産業廃棄物などの発生抑制や適正処理の推進に取り組みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全ての市民が、環境に関心をもち、市と協働して生活排水対策等に自発的に取り組む状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会や市民団体及び小中学校の教員や生徒等を対象に、水環境の保全等に関する学習会を開催。</li> <li>各種イベントにて、水環境や大気環境に関するパネル展示や体験活動の実施。</li> <li>市ホームページ及び広報、エフエムひらかたを活用した水環境(生活排水対策、河川事故防止)や大気環境(光化学スモッグ、PM2.5情報)についての啓発を実施。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	学習会等を通じて生活排水対策等について関心の高まった市民の割合 【算出式： 関心の高まった市民人数/参加人数 】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	—					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.70	0.60	0.60
正職員数	0.70	0.60	0.60
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	5,512	4,771	4,810
正職員人件費(換算額)	5,512	4,771	4,810
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	25	0	4
■事務事業の総計(千円)	5,537	4,771	4,814
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,537	4,771	4,814

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	水環境や大気環境についての学習会等を10回開催するとともに、ホームページ、広報紙へ掲載を行う等の啓発活動を実施した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	広報紙への掲載、下水道未整備地域の自治会や小中学校等を中心に学習会を継続して、市民の意識改革と啓発を行う。	

# 事務事業実績測定調査

10526010010	工場等届出規制指導事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000400	環境部環境指導課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	87.大気・土壌汚染等の公害の未然防止を図るとともに、産業廃棄物などの発生抑制や適正処理の推進に取り組みます。	
	実行計画事業名	大気汚染等環境監視・指導事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事业	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	大気汚染防止法、瀬戸内海環境保全特別措置法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、土壌汚染対策法、ダイオキシン類対策特別措置法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律及び各法施行規則 大阪府生活環境の保全等に関する条例、枚方市公害防止条例及び各条例施行規則、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 枚方市ペット霊園の設置等に関する条例、枚方市土砂埋立て等の規制に関する条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業者が各種法令に基づく手続きや規制基準等を継続して遵守することにより、市民の快適な生活環境が確保される。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公害関係法令等に基づく届出、申請の受理・協議・審査</li> <li>・対象事業所立入検査(採水を含む)</li> <li>・特定建設作業実施届出・石綿含有物の排出等に係る届出の受理・審査</li> <li>・排水基準違反工場等に対する基準遵守の指導</li> <li>・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく届出等の受理・審査</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	規制基準等を満足する工場・事業場の件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	4,342	4,342	4,342		
実績	—					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	6.20	5.20	5.00
正職員数	6.00	4.55	4.35
非正規職員数(計)	0.20	0.65	0.65
再任用職員数	0.20	0.65	0.65
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	48,133	39,376	38,188
正職員人件費(換算額)	47,244	36,177	34,874
非正規職員人件費(計)	889	3,199	3,314
再任用職員人件費(換算額)	889	3,199	3,314
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	2,440	2,689	3,058
■事務事業の総計(千円)	50,573	42,065	41,246
国庫支出金	0	0	0
府支出金	1,295	1,587	1,946
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	49,278	40,478	39,300

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場・事業場に対し届出などの指導や立入調査を実施した。</li> <li>・過去に排水基準違反等のあった工場・事業場に重点を置いた排水の水質分析を実施し、基準値を超過した工場等に対し適正な排水処理を行うよう指導するとともに、適正な処理が行われたことを確認した。</li> <li>・有害物質を取り扱う事業所に対し、改正水質汚濁防止法の内容を周知するとともに、構造等に関する基準の遵守及び定期点検の義務について立入、指導を行った。</li> <li>・特定建設作業実施届出・石綿含有物の排出等に係る届出審査を行うとともに、パトロール等を行い適宜指導を行った。</li> <li>・枚方市公害防止条例に基づき、揚水量及び地下水位測定記録の報告徴収を行った。</li> <li>・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律の届出の受理及び審査を行った。</li> <li>・枚方市土砂埋立て等の規制に関する条例に基づく協議・指導を行った。</li> <li>・枚方市ペット霊園の設置等に関する条例に基づく届出の受理・審査を行った。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、排水基準違反工場等を重点的に指導を行っていく。	

# 事務事業実績測定調書

10526010011	大気汚染測定局運営業務		
測定年度	2019(R1)年度	16000400	環境部環境指導課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	87.大気・土壌汚染等の公害の未然防止を図るとともに、産業廃棄物などの発生抑制や適正処理の推進に取り組みます。	
	実行計画事業名	大気汚染等環境監視・指導事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明		~		
根拠法令等	大気汚染防止法(同法施行令)				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	正確な大気環境の情報が、継続的に提供されることで市民の不安が軽減される状態。				
事業概要	窒素酸化物、浮遊粒子物質、微小粒子状物質など大気の常時監視を行う。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	環境基準達成率(大気汚染) 【算出式: 達成件数/測定件数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	87					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.00	1.10	1.10
正職員数	1.00	1.10	1.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	7,874	8,746	8,819
正職員人件費(換算額)	7,874	8,746	8,819
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	19,839	18,228	27,661
■事務事業の総計(千円)	27,713	26,974	36,480
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	7,493	5,614	14,769
一般財源	20,220	21,360	21,711

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	87.00%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染状況の調査として、一般環境大気測定局3局、自動車排出ガス測定局2局及び第二京阪道路環境監視局2局にて測定を実施し、測定結果についてはホームページ等で公表した。微小粒子状物質(PM2.5)については、市民の関心も高く、王仁公園局と中振局の市内2局において測定するとともに、近畿大気汚染常時監視連絡会主催の会議に参加し情報収集を行った。また、市民へ速やかな情報提供ができるように、大阪府による注意喚起情報等の関連情報や測定結果をホームページに掲載した。</li> <li>・第二京阪道路環境監視局津田局設置の太陽光発電システムにより、津田局において使用する電力の一部を賄うとともに、余剰電力を売電した。(発電能力4.66kW、売電量3,538kWh、売電金額148,613円)</li> <li>・環境大気自動測定機の共通仕様に対応するため、常時監視システムの更新を行った。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染測定局を適正に運営し、市内大気環境の常時監視を行うとともに、微小粒子状物質(PM2.5)等の測定結果についてはホームページ等により公表する。</li> <li>・継続して精度の高い測定を行い、測定結果の公表が行えるよう、計画的な測定機器の更新を実施する。</li> </ul>	



# 事務事業実績測定調書

10526030007	水質汚濁常時監視事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000400	環境部環境指導課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	89.河川や水路、池などの水質汚濁の防止を図るため、公共下水道の整備を促進するとともに、生活排水等の適正処理を進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明		～		
根拠法令等	水質汚濁防止法(同法施行令)				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	正確な水質環境の情報が、継続的に提供されることで市民の不安が軽減されている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川調査 環境基準点及び準基準点のほか、独自測定点を設定し、水質調査を実施。</li> <li>地下水調査 概況調査、汚染の継続的な監視を行う継続監視調査等を実施。また、新たに地下水汚染が発見された場合には、汚染井戸周辺地区調査を実施。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	環境基準達成率(本市を代表する3河川(天野川、穂谷川、船橋川)及び地下水の概況調査による。) 【算出式: 達成件数/調査件数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.80	0.70	0.70
正職員数	0.80	0.70	0.70
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	6,299	5,566	5,612
正職員人件費(換算額)	6,299	5,566	5,612
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	4,825	4,952	4,822
■事務事業の総計(千円)	11,124	10,518	10,434
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	11,124	10,518	10,434

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	水質の状況について、河川10地点で河川調査を実施した。一方、地下水調査は、概況調査3地区、継続監視調査9地区で実施した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	市内河川及び地下水の常時監視を行うとともに、測定結果についてはホームページ等により公表する。	

# 事務事業実績測定調査

10528010003	不法投棄防止対策事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000400	環境部環境指導課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち	
	取り組みの方向	92.きれいなまちをつくるため、一人ひとりがポイ捨てなどのマナーに反する行為をなくすとともに、地域の道路・公園等の美化活動を促進するなど、まちの美化に向けた取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1998 (H10) 年度		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	廃棄物の適正処理の徹底が図られるとともに、廃棄物の回収などまち美化に向けた取り組みを推進することで、不法投棄された廃棄物による生活環境の保全上の支障がない、きれいなまちが実現している。				
事業概要	廃棄物の不法投棄の防止を図るため、市民や自治会等からの要望に基づき啓発看板の配布を行う。また、市民等からの通報やパトロール等で確認された廃棄物については、土地の所有者や管理者等と連携して、廃棄物の回収に向けた対応を行う。行為者が確認された場合は、必要に応じて警察と連携して、指導など必要な対応を行う。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	不法投棄対応件数／不法投棄通報件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	—					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.30	1.08	0.25
正職員数	1.30	1.08	0.25
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	10,236	8,587	3,169
正職員人件費(換算額)	10,236	8,587	2,004
非正規職員人件費(計)	0	0	1,165
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	1,165
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	74	132	160
■事務事業の総計(千円)	10,310	8,719	3,329
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	10,310	8,719	3,329

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	不法投棄の防止の啓発看板の配布を行い、不法投棄の未然防止を図った。また、市民等からの通報やパトロール等で確認された廃棄物については、土地の管理者等に連絡して、廃棄物の回収に係る対応を行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も引き続き、不法投棄の防止を図るため、啓発看板の配布を行う。また、市民等からの通報やパトロール等で確認された廃棄物については、回収に係る対応を行う。	

# 事務事業実績測定調査

10528010006	地域環境保全事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000400	環境部環境指導課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち	
	取り組みの方向	92.きれいなまちをつくるため、一人ひとりがポイ捨てなどのマナーに反する行為をなくすとともに、地域の道路・公園等の美化活動を促進するなど、まちの美化に向けた取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	1974 (S49) 年度		～		
根拠法令等	枚方市住み良い環境に関する条例、枚方市一般旅館及びラブホテルの建築規制に関する条例、枚方市ぱちんこ遊技場の建築規制に関する条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	禁止区域に風俗営業を営むことを目的とした建築物が建設されず、禁止区域外に建設される場合には、事前に適正な配慮が行われ、周辺の良い生活環境が確保されるとともに、青少年の健全な育成が阻害されていない状態。				
事業概要	事業者からの問合せや開発行為等の事前協議の際等に、各条例の対象となるぱちんこ遊技場や一般旅館・ラブホテルなどの風俗営業を営むことを目的とした建築物の新築・増築に対し、建築規制の対象となるか審査し、必要な指導を行う。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	各届出に対し、審査が完了した件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	1	1	1		
実績	—					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.31	7.57	7.45
正職員数	0.31	0.57	0.45
非正規職員数(計)	0.00	7.00	7.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	7.00	7.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,441	4,570	3,608
正職員人件費(換算額)	2,441	4,532	3,608
非正規職員人件費(計)	0	38	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	38	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	12	0	0
■事務事業の総計(千円)	2,453	4,570	3,608
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,453	4,570	3,608

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>平成30年度は、「枚方市一般旅館及びラブホテルの建築規制に関する条例」に基づく届出が1件あり、一般旅館に該当すると判断し、その結果を建築主に通知した。 また、条例による規制内容に関する問い合わせ・相談について、随時対応した。 警察の風俗営業許可に関する照会について、取りまとめの上回答を行った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	条例に基づき、適正に事務を進める。	

# 事務事業実績測定調書

10999990055	環境指導課運営事務		
測定年度	2019(R1)年度	16000400	環境部環境指導課
総合計画体系	基本目標	9:施策体系外	
	施策目標	99:施策体系外	
	取り組みの方向	99:施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課事務を適正に運営する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会等に対する調整等</li> <li>・行政評価・事務事業に関する事務</li> <li>・予算差引、予算決算管理事務</li> <li>・給与、休暇等処理事務</li> <li>・物品購入、物品管理事務</li> <li>・文書管理事務</li> <li>・石綿作業主任者技能講習の受講</li> <li>・環境指導課所管の車両に係る管理事務</li> <li>・消防設備法定点検の実施(委託)</li> <li>・警備委託 等</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.15	2.05	2.05
正職員数	1.95	1.75	1.75
非正規職員数(計)	0.20	0.30	0.30
再任用職員数	0.20	0.30	0.30
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	16,243	15,391	15,559
正職員人件費(換算額)	15,354	13,914	14,030
非正規職員人件費(計)	889	1,477	1,529
再任用職員人件費(換算額)	889	1,477	1,529
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	2,800	1,864	2,018
■事務事業の総計(千円)	19,043	17,255	17,577
国庫支出金	0	0	0
府支出金	409	205	157
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	215	0	173
一般財源	18,419	17,050	17,247

### 4. 実績測定

	実績／目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境指導課所管事務及び各種庶務関連事務等を適正かつ効率的に執行した。</li> <li>・磯島倉庫の建物、設備等の効率的かつ適正な管理・運営を行った。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、事務を執行する。	